



2015年(平成27年)第11号・新使徒教会日本教区発行  
〒206-0014 東京都多摩市乞田1320(本部) Tel. 042-374-0070  
〒799-2468 愛媛県松山市小川甲110番地17 Tel. & Fax. 089-994-3556  
編集者: ヴォルフガング・R. アーデ Tel 090-6923-0115  
矢幡 賢治 E-mail: nac\_matsuyama@ybb.ne.jp

敬愛する兄弟姉妹の皆さん。

最初に、私にとって、とても大切なことがあります。それは、収穫感謝祭の日を特別な行事とするために皆さんが取り組んで下さったすべてのことへの感謝であります。皆さんの祈り、貢献、献金や捧げ物をしてくださったことは、天のお父様が御存知であります。

そして、故人のために祈って下さったすべてのことにも感謝申し上げます。11月の第一日曜日には、これまで故人のための特別礼

拝が執り行われ、イエス様が犠牲となられたおかげで陰府に下った者たちにも救いが提供されるようになりました。

今月の最後の日曜日である11月29日は、<sup>アドベント</sup>待降節の第一日曜日であり、教会の新年度がこの日から始まります。これを機会に、ニュースレターの名称が「コミュニティ」となります。これは私たちの属す東・南アジア教区の全地域に配布される英語版季刊誌の名称にちなんだものであります。

「コミュニティ」という言葉は、日本語でも外来語としてよく使われますが、本来は:

1) (利害・宗教・国籍・文化などを共有する) 共同社会, 共同体,

2) (大きな社会の中で共通の特徴を持つ) 集団, 社会, …界。

などといった意味があります (Weblio辞書より)。



待降節は、イエス・キリストの降誕そのものに思いを寄せる時期であり、救いの歴史における新しい時代の始まりでもあります。ヨハネによる福音書1章17節では、モーセとイエス・キリストについて述べています。モーセは旧約の代表

であり、旧約の特徴はモーセの律法でした。それに対してイエス・キリストは新約の制定者であり、新約の特徴は恵みと真理です。イエス・キリストは、恵みと真理が擬人化されお方です。つまりイエス様は恵みと真理そのものなのです。ですからイエス・キリストは、すべてのキリスト教徒にとって、模範であるだけでなく、信仰と崇拝の対象であります。それと同時に、人類への積極的な愛と慈しみという点で、信徒が手本とすべきお方です。そうしたイエス・キリストの特質を自らに取り込みましょう。神様が皆さんを援助して下さいます!

## マルティン・ルター：教会の奉仕者

ルターは教会に多大な奉仕をしました。しかしその功績が認められるのに、長い時間がかかりました。何百万というキリスト教徒が、ルターの教義を信じています。新使徒教会の礼拝においても、ルターの足跡を見ることができます。例えば sacrament (聖礼典) などの典礼の内容もさることながら、ドイツ語聖書の代名詞であるルター訳聖書は、ドイツ文学に決定的な影響をもたらしています。このマルティン・ルターとはどのような人物なのでしょう。



マルティン・ルターは 1483 年に生まれました。当時の世界は規模的に今よりはるかに小さかったものの、それ以外の点では今とそれほどの違いはありませんでした。貧困と抑圧に苦しみ、教育を受ける機会もほとんどあるいはまったくありませんでした。カトリックの司祭であったルターは名物先生で、自分の生徒だけでなく、周辺の人たちにも教育を施しました。彼は、こんにちいる素晴らしい先生方と同じように、人々に良い教育を施すことを目指していました。しかもルターは優れた教育を受けており、神学博士でした。彼は聖書翻訳を手掛けました。当時からすでにいくつかの言語に翻訳されていたものの、標準的なドイツ語に翻訳されたものはありませんでした。印刷されたものも無く、写本しかありませんでした。ルターは聖書のドイツ語翻訳に着手しました。ドイツ語は当時、彼のいた地域で話されていた方言でした。しかしこの聖書翻訳によって、ドイツ語は発展し、ルターの住む小さな世界をはるかに飛び越えた地域でも話されるようになりました。

### 免罪符をめぐる論争

ルターは真面目で実直なキリスト教徒でした。ですから罪が赦されたことが文書として書き記されたものを購入するという、免罪符の考え方に、彼は非常に苛立ちを感じていました。彼が生涯を通じて重要視したのは、神の恵み (\* ソラ・グラティア) と、墮落した人類に対する神の愛と憐れみであります。こんにちにおいて、この考え方は義の教えとして知られていま

す。このことについて、使徒パウロはローマの信徒への手紙で次のように書いています「福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです」(ロマ 1:17)。つまり、\* ソラ・フィデ (信仰のみ) の考え方を反映しています。業績でもなく、財産でもなく、ただ信仰によるということです。この聖句がきっかけとなって、ルターは聖書の言葉について新しい解釈をしました。つまり、神の永遠の義は、人類に与えられる恵みの賜物であり、人類がいかなる貢献をしてもその義に見合うものではない、ということです。ルターにとって聖書は、イエス・キリストを証しするものであり、その中心にあるのは義の教え、すなわち \* ソラ・スクリプトゥラ (聖書のみ) であります。

### 宗教改革の幕開けとして示された論題

1517 年 10 月 31 日は、\* ヴィッテンベルクの教会の扉に、ルターが \*95 か条の論題を張り付けた日とされています。この 95 か条の論題は公の場に晒され、多くの人々の共感を得ました。論題の厳しい表現によって、免罪符の売り上げは落ちました。ルターから見て免罪符は聖書に反する行為であり、そうした行為が宗教改革のきっかけでした。ますます多くのキリスト教徒がカトリック教会を脱会しました。新しい考え方、新しい会衆、新しい教会ができました。宗教改革に反対する者もあり、キリスト教徒同士の殺し合いが起きました。状況はエスカレートし、人々が火あぶりにされるという恐ろしい事態となりました。しかしルターが求めたのは、彼の著作の題名にもなっていますが、\* キリスト者の自由、それだけでした。1546 年 2 月 18 日、偉大な思想家で神学者であったマルティン・ルターは亡くなりました。

### そして今

マルティン・ルターから、私たちは何を学ぶことが

できるでしょうか。マルティン・ルターから、私たちは、キリスト者であるとはどういうことか、父なる神に自らを捧げるとはどういうことか、どうすれば聖書に適う生き方ができるのかを学ぶことができます。信仰のみによる正義というルターの考え方についてしっかりと考えることは、聖餐を通してイエス・キリストが実在するという信念と同様に大切なことです。新使徒教会員も「これは…私の体、これは…私の血…」と告白します。しかしルターの最も偉大な功績は、聖書をドイツ語に翻訳したことであります。この翻訳された聖書によって、幾世代ものキリスト教徒が主の祈りを覚

えたり、帰って来た放蕩息子<sup>ほうとう</sup>を迎え入れた憐れみ深い父親の喩え話を讀んだりすることができたのです。

ルター派<ルーテル教会>

\* ドイツ合同福音ルター派教会は、プロテスタントに属します。その教えは聖書全体と福音ルター派教会の信仰告白に基づいています。福音ルター派教会の信仰告白には、\* マルティン・ルターの小信仰問答書、\* シュマルカルデン条項、\* アウグスブルク信仰告白などがあります。約 7400 万のキリスト教徒がルター派に属しています。

---

訳者注 <w…ウィキペディアより出典 s…世界大百科事典より出典 (一部改変)>

\* ソラ・グラティア…五つのソラ (英語: five solae、ラテン語: cinque solas) の一つ。五つのソラとは、プロテスタント宗教改革と改革神学者たちの神学を要約したラテン語の語句である。ソラ・グラティア (Sola gratia) は「恵みのみ」という意味である。w

\* ソラ・フィデ…五つのソラの一つ。「信仰のみ」という意味で、信仰義認とも呼ばれる。ルターは九月訳聖書とも呼ばれる『ドイツ語新約聖書』の「ローマ人への手紙」3章28節の訳語に「のみ」を付け加え、「信仰のみによる」と訳した。これが、ルターの宗教改革の中心的教理である信仰義認のテーマになった。w

\* ソラ・スクリプトゥラ…五つのソラの一つ。「聖書のみ」という意味である。ルターはシュマルカルデン信条において「神のことが、教会の教えと信仰告白を確立する。それは天使であっても覆すことができない」と主張した。ルターは、教皇も教会会議も最終的な権威ではなく、教会におけるすべての権威の上に聖書の権威を置き、聖書の権威に服すべきであると主張した。w

\* ヴィッテンベルク…正式名称ルターシュタット・ヴィッテンベルク。ドイツ連邦共和国ザクセン＝アンハルト州の都市。単にヴィッテンベルクとも呼ばれる。現在の都市名は1938年以降である。宗教改革の立役者であるマルティン・ルターが神学部の大学教授として教鞭をとった地として有名である。同州のルターシュタット・アイスレーベンと共に、彼の足跡を記念し「ルター都市」を都市名に冠している。人口は約47,000人。エルベ川沿いにあり、近隣の都市には、約60km南にライプツィヒ、65km北東にポツダムがある。w

\* 95か条の論題…正式名称「贖宥状<免罪符>の意義と効果に関する見解」と言い、1517年にマルティン・ルターが当時のカトリック教会の免償理解に疑義を呈して発表した文章、提題(テーゼ)である。w

\* キリスト者の自由…ルターの著作としては、1520年にヴィッテンベルクで発表された論文の名称。ルターは信徒達に対して教会組織に忠誠を誓うのではなく、自己愛を捨てて神や隣人に積極的に尽くすように呼び掛けている。また、教会内での司祭(神父)の態度や階級制度に疑義を表している。w

\* ドイツ合同福音ルター派教会…ドイツにおけるルター派州教会による連合体。w

\* 信仰告白…信仰を神と人ともに告白すること、また表現した文書を指す。w

\* マルティン・ルターの小教理問答書…全世界のルター派教会の信仰の基準である。牧師たちのために「大教理問答書」が書かれたのに対し、小教理問答書は一家の主人がその家族に教えるために書かれた。w

\* シュマルカルデン条項…1537年ルターによって起草され、ルター派のシュマルカルデン同盟に提示された信仰簡条書。ルター派の信仰告白書として重要な位置を占めた。s

\* アウグスブルク信仰告白…ルター派教会が用いる信仰告白(信条)の一つである。1530年にフィリップ・メランヒトンによってドイツのアウクスブルクで起草されたことからこの名がある。w



## 信頼できる証人になる

2015年6月17日の日曜日、ジャン＝ルーク・シュナイダー主使徒は、エルフルト(ドイツ中部教区)で行われた青年の日に参加した三千名の青年たちと共に過ごしました。この教区にいる四万八千の兄弟姉妹を担当する責任者は、ヴィルフリート・クリングラー教区使徒です。



神様は私たちを特別に選んで下さいました。サウルと同様に、私たちが主を出会った時に、私たちの選びが現実のものとなったのです。天来の選びは恵みが具体化したものであります。選びに与る資格は、私たちにはありません。選びは理性で説明できません(教理要綱 4.5.3)。そして選びは、神の意図によるものであります。神は意図をもって、特別に私たちを選んで下さいました。私たちだからこそ選んで下さったのです。

神が私たちをお選びになったのは、私たちが神の御旨を知り、「御子の姿に似たもの」(ロマ 8:29)となるためです。神は、私たちがイエス・キリストによって敷かれた道、すなわち信仰、水と御霊による再生、従順の道を進んでほしいと願っておられます。そして私たちが証人となることをお望みです。そしてすべてのキリスト教徒と同じように、福音を広めることによって救いの御計画に参画することを、期待しておられます(教理要綱 4.5.3)。そして最終的には、かつてこの世に生を受けたすべての人々に福音を宣べ伝えるために、私たちが王の血統を継ぐ祭司となることをお望みです。それが選ばれた目的であります。

神は、イエス・キリストによる犠牲の愛、救いの御旨、日常生活における助け、隣人を救うための働きを、選ばれた者たちが悟ってほしいと願っておられます。聖霊は、すべての人を救おうという神のお望みを理解できるように、私たちを教えられます。

聖霊は、私たちが主の御声を聞けるようにして下さい

います。主の御声は、私たちの教役者や両親による説教や勧めの中でわかります。私たちの心の中で聞くこともできます。

聖餐に与ったり兄弟姉妹と親しく交わったりすることで、主と出会うことができるのは、聖霊のおかげです。主の光によって、私たちの助けを必要としている者たちの中にイエスを見出します(マタ 25:36)。

証人とは、見たり聞いたりしたことを説明する人のことです。キリストの証人にとって、辞典に書かれているような知識は必要ありませんし、神学的な議論を通じて何かを納得させたり証明したりする必要もありません。神が私たちに期待しておられるのは、私たちが見たり聞いたり体験したりしたことを共有して、キリストの福音が真実であることを確認することです。

ですから、信仰生活を歩むことが大切です。理論と実践との間に食い違いが生じることもあります。祭壇から宣べ伝えられることと、実際に経験することとの間に矛盾が生じることもあります。約束されている力にも平和にも喜びにも与れない。そうした状況に慣れてしまい、理論は現実と逸脱しているのが普通だと思わないようにしましょう。さもないと、私たちが選ばれていることを疑問視することになります。私たちが主を見たり聞いたりしなければ、どうして信頼できる証人になれるのでしょうか。使徒の教えが数多くある他の理論の一つに過ぎないとしたら、使徒の教えが真実であることをどうすれば確かめられるのでしょうか。

私たちの選びを確かなものとしましょう。神が約束して下さいましたものに与りたいという気持ちを、神様にお示ししましょう。謙虚な姿勢で助けを願い求めましょう。物をもらおうとする人のように神に嘆願しましょう。主の喩えに登場するやもめのように、しつこく求めましょう(ルカ 18:3)。躊躇せず<sup>ちゅうちよ</sup>に私たちを執り成してくれるよう、教役者に頼みましょう。そうした祈りに、神様は必ず耳を傾けて下さいます!

# まとめ

使徒言行録 22 章 14-15 節

「アナニアは言いました。『わたしたちの先祖の神が、あなたをお選びになった。それは、御心を悟らせ、あの正しい方に会わせて、その口からの声を聞かせるためです。あなたは、見聞きしたことについて、すべての人に対してその方の証人となる者だからです。』」

神が私たちをお選びになったのは、御子に似た者となり、御子の証人となるためであります。キリストの証人は、キリストを見たり、聞いたり、体験したりしたことを確認します。神様が約束されたものにとりたいたいという願いを、祈りを通して熱意をこめて証しします。

(新使徒教会季刊誌 Community 03/2015EN GLOBAL NEWS より)

## 聖餐はどこでも執り行われる

すべてを失いました。財産も、家も、そして多くの人は愛する人も失いました。世界中に五千万人以上の人々が故郷を追われています。今回はアフリカ東部にある難民キャンプの一部取材しました。そこに住む人たちはありとあらゆる悲惨な体験をしているにもかかわらず、信仰生活を歩んでいるのです。

ケニア、タンザニア、ウガンダの平原に五十キロ平方キロメートルにわたって、テントや小屋が無秩序に広がるその風景は、まるで巨大な街のようです。国連の調べによると、住む所を失ったおよそ 150 万の人々がこのアフリカ東部の地域に暮らしています。彼らはエチオピア、ジブチ、エリトリア、ルワンダ、ソマリア、コンゴ、スーダンからの難民です。政治的あるいは民族的な衝突、テロ、飢餓によって、故国の地を追われた人たちです。

一日 70 グラムのトウモロコシ粉が無い

ダダーブ、カクマ、カトウンバ、キャカ、キャングワリ、ナキヴァレ、ニャルグス。これらは難民キャンプの一部です。ダダーブは世界最大の難民キャンプと考えられています。非常に多くの人道援助活動が行われたり、組織が活動したりしているものの、彼らの状況は一向に良くなりません。デイビッド・ムワニキ使徒が現地の人々と話をする中で、最も多く聞かれる単語は「空腹」「飢餓」であります。食糧が非常に不足しています。場所によっては、ひと月に五人が十キロのトウモロコシ粉で生活しなければなりません。これは一人一日 70 グラムしかない計算です。

難民キャンプの飽和状態は絶望的です。衛生施設がほとんどないために、病気が広がっています。人々の生活は栄養失調、マラリア、貧血、呼吸器感染と隣り合わせです。多くの人が、拷問、虐殺、レイプといった、母国で味わった恐怖体験による心的外傷を受けていて、不安、悲壮感、喪失感に苛まれています。しかし最も深刻なのは、難民キャンプ内での医療が十分でないことです。医師も、治療薬も、診療所も、極端に不足しているのです。

木の下で執り行われる礼拝

そうした劣悪な環境の中でも、生きた信仰があるのです。ケニアのジョセフ・オペムバ・エクヤ教区使徒が担当する教区内の難民キャンプには 15 の会衆があります。タンザニア北部にあるニャルグス難民キャンプだけでも六つの会衆があります。定期的に礼拝も行われています。場所によっては日曜日だけでなく、水曜日も行われています。しかも聖餐はすべての場所で行われています。

設備も、世界中の他の地域なら当然あると思うような、礼拝を行うのに最低限と考えられる環境とは





ケニアのダダブにある難民キャンプ。世界最大規模の難民キャンプで、およそ三十五万人が暮らしている

程遠い状態です。聖書は？装丁の整った聖書などありません。讃美歌は？ほとんどありません。祭壇は？せいぜいテーブルを用意するのが精いっぱいです。教会は？ナキヴァレでは、教会員が礼拝のために、木の下に集まって、日よけ代わりにしています。キャカでは、横木を組んで、新使徒教会の運営事務所から譲り受けたトタンを被せました。ニャルグス難民キャンプではレンガを積んだかやぶき屋根の建物もあります。

牧会は教会員だけでなく

難民キャンプにいる兄弟姉妹はほぼみんな、自分たちの信仰について率直に話します。最も規模の大きいダダブだけは難しい状況です。キャンプ住民の多くが、ソマリアから来たイスラム教徒で、キリスト教徒に対しては不寛容で敵意を抱いています。礼拝もキャンプで行うことはできず、安全地帯から外れた場所で行っています。礼拝に出席する人たちは、実業家のほかに、難民事務所で働く人もおられます。

他のキャンプでは、教役者——牧者、伝道師、牧師、執事——が自由に移動でき、教会員のテントや小屋に

行って家庭訪問を行っています。ニャルグスでは、新使徒教会員でない人たちのための礼拝をやってほしいという要請まであります。

悲惨な状況にあっても感謝し、喜ぶ

信仰は力を与えます。「心の傷を負っていても、兄弟姉妹たちは神に感謝し、キリストにある喜びを享受しています。」タンザニア北西部にあるニャルグス難民キャンプから来た人は、私たちにそう語ります。コンゴにある難民キャンプには避難施設があります。そして聖歌隊が組織され、キリストにある喜びを、歌を通して表現しています。

難民たちは、危機的な貧困状態からの脱却を望んでいます。その他にも彼らには、世界中の兄弟姉妹にお願いしたいことがいくつかあります。「親を亡くした子、夫を亡くした妻、妻を亡くした夫のために祈って下さい」というのがキャカからの緊急の訴えです。カクマの難民キャンプの人々からは次のような要望が届いています「難民が故国の地に帰れるように、平和を求めて真剣に祈って下さい。」

## 救いを必要としている人類

ニューズレター第9号に続いて、新使徒教会教理問答集の抜粋として、救いを必要としている人類の一部を紹介します。

人類に贖いが必要なのは、なぜですか。

墮罪以来、すべての人が罪人となりました。悪しき者に誘惑されたのです。だれ一人として罪無しに生きることができません。皆一人ひとりが、罪から抜け出すことができないのです。このような状態から人類が解放されることを——言い換えれば贖われることを——神は願っておられます。

「贖い」とはどういう意味ですか。

元々「贖い」を意味する語には、手かせや足かせを緩める行為との関連がありました。イエスによる犠牲との関連で考えると、「贖い」は、悪しき者に拘束されている人類の解放を表しています。

聖書では、墮罪についてどのようなことに記録されていますか。

神はアダムとエバに、善悪を知る木から取って食べてはならない、とお命じになりました。その木はエデンの園の真ん中に立っていました。また神は「食べると必ず死んでしまう」と仰せになり(創2:17)、その戒めを破った場合に生じる結果を彼らに自覚させられました。悪魔は最初の人類を感化して、神の言われたことに疑念を持たせました「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ」(創3:4, 5)。アダムとエバは誘惑に屈してしまいました。二人は神の戒めに従わず、戒めに背き、その木の実を取って食べてしまいました。この神への不従順を、墮罪といいます。

人類の墮罪は、どのような結果をもたらしましたか。

墮罪は、人類の生き方に、取り返しのつかない変化をもたらしました。神を恐れるようになり、神から身を隠しました。人同士の関係で苦しむようになりました。他の被造物との関係も同様となりました。

この時以来、人の生涯は苦役そのものとなりました——そして限りあるものとなりました「お前がそ

こから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る」(創3:19)。

墮罪によって生じたもう一つの結果は、人類が神と離れてしまったことです。神はアダムとエバを、エデンの園から追放されたのです(創3:23-24参照)。

「主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた。こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた」(創3:23-24)。

罪と罪責の違いは何ですか。

罪は絶対的なものですから相対化できません。罪は神から引き離します。

それに対して、犯した罪に一人ひとりが負う罪責の査定は、神の正義と憐れみによって、それぞれの事案によって異なる可能性があります。

信徒の務めは何ですか。

人は、神の御言葉を受け入れ、それを信頼し、それに従って行動することが求められています。イエス・キリストはこうお命じになりました「神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい」(ヨハ14:1)。イエスは「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得る」ことを約束されました(ヨハ3:16)。それに加えて、御自分が言われたことの意味を信じないことによって生じる結果を力説されました「『わたしはある』ということ信じないならば、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる」(ヨハ8:24)。

「実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです」(ロマ10:17)。



救いの土台になっているものは何ですか。

イエス・キリストは永遠の救いを創設されたお方です「そして、完全な者となられたので、御自分に従順であるすべての人々に対して、永遠の救いの源となり…」(ヘブ 5:9)。イエスは神と人とを仲介して下さるただ一人のお方です(一テモ 2:5 参照)。使徒言行録 4 章 12 節では次のように証ししています「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」

イエス・キリストは神によって遣わされた救い主です。罪に勝利してこられた贖い主です。イエスによって、罪がもたらす害悪から救いを見出すことができます。イエスが十字架上で犠牲となられたことによって、罪からの解放——そして神から永遠に離れてしまう事態の回避——が可能となりました。

仲介者：イエス・キリストが「仲介者」であるということは、一つには、神と人とを仲介して下さるお方であるということです。つまり、イエス・キリストが神の御前で人類の代理となる、そして人の前で神の代理となる、という意味です。イエス・キリストは神の御前で、人類の弁護者であり、神の御旨を人類にお知らせになります。もう一つには、イエス・キリストが「仲介者」であるということは、神との交わりを回復させて下さる救いの道だということです。

「神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。」



た。これは定められた時になされた証しです」(一テモ 2:5、6)。

こんにちにおいて、どうすれば救いを得ることができますか。

自分で救いを獲得することはできません。イエス・キリストを信じ、この世の救いのためにイエス・キリストが提供して下さった、聖礼典 sacrament と御言葉を活用することによって、救いを得ることができます。

キリストが再臨される時、花嫁の会衆は、どのような形で救いを体験することになりますか。

花嫁の会衆は、キリストが再臨される時には、すでに天の婚宴で神と永遠の交わりを持っていることでしょう。

救いの御計画はいつ完成しますか。

聖書によれば、救いの御計画は、新しい創造をもって完成します。

福音から見た場合、選びとはどういう意味ですか。

福音から見た場合、選びは神の愛の賜物であります。この賜物を受け入れるか拒否するかは、人が自由に決めることができます。神の選びとは、人の行動があらかじめ決まっている、という意味ではありません。

この選びを受け入れることによって、どのような結果になりますか。

神が人類をお選びになるのは、その人を救うだけでなく、その他の人々を救うためでもあります。神がお選びになる場合、常にその選びに付随して、任務や責任も伴います。選びを信仰によって受け入れるとは、救いの創始者であるイエス・キリストに誠実に従うことです。つまり福音に適う人生を送ることです。そうすることによって神の祝福をひきつけることができます。

選びは未来にも効果をもたらします。つまり、イエス・キリストが平和の御国をお建てになる時、王の血統を引く祭司職は、キリストの救いという良い知らせを宣べ伝えます。この職務に選ばれた者たちは、第一の復活に加わります。